

美味しいみかんができることを願って

大阪府大阪市長大成小学校 五年 木本 紗矢香

私の祖母は、愛媛県に住んでいます。愛媛県は有名なみかんの産地で、愛媛県から知り合いの農家さんや八百屋で買って送ってくれるみかんは、小さな一つぶ一つぶがとても甘くて美味しく、毎回たくさんのみかんを送ってもらうのがとても楽しみです。みかんを送ってもらった時に電話をして、みかんの話を聞くと、今年の愛媛県は不作だったそうで私の家の近くのスーパーへ行った時みかん一ふくろの値だんがとても高くおどろきました。不作だった理由の一つ目は、スギやヒノキの実が増えていることで、カメムシが大量発生してしまい、たくさんのみかんが食べられてしまったからだそうです。二つ目は、地球温暖化で夏がとても暑く、みかんがでにくくなったからだそうです。

農作物への被害は大きくカメムシは口器を植物に突き刺して水分を吸うのですが、この時に植物の組織が破壊されてしまうことでみかんの不作の原因となっています。みかんには、表年と裏年というものがあり、去年の愛媛県は裏年だそうです。表年と言われる年は、収穫量が多く、裏年と言われる年は、収穫量が非常に少なくなる年のことで、一年ごとに繰り返します。みかんの木は、毎年5月初旬頃に花を咲かせますが収穫は十一月〜十二月頃となります。実を成らせることは、とても体力のいることなので収穫から開花までの期間が短いと、木が疲れてしまいます。なので、十一月〜十二月に収穫する早生〜晩生品種系のみかんは、隔年結果といって、たくさん収穫できる年と収穫量が激減する年が、一年ごとに交代して訪れます。なので、今年は表年ということになるのでたくさんのみかんが収穫できてほしいです。

これからも、たくさんの人々が美味しいと感じるようなみかんがこれからの未来にもいつまでも作り出されてほしいです。